

金沢大学附属図書館創作短歌フェス2022

「得票数が2票以上あった作品（とコメント）」及び「得票数が1票でコメントがあった作品」です。

得票数	作品	コメント
9	寂しくて今日も極細ポッキーを一度に5本まとめて食らう	わかります 沢山入っているからと思って買った極細を、結局ひとりで、さらにまとめて食べてしまうのに共感しました。ポッキーおいしいですね。 私も数本まとめて食べるがありますが、自分は寂しかったのか、と気づかされました。 なんか分かる。 せつなさとおかしさがある 極細がミソですか
9	右側を走る自転車に教えたい君は大きく間違っていると	自転車の右側通行は軽く見逃してしまいがちですけど、大きくまちがえているとあえていうところにシニカルさと深刻さが共存しています。 本当につ！そう思います！ 標語っぽいですね 自分の交通マナーを確認しながら思わず笑いました。確かに大きな間違いだと思えます。この歌を思い出して気をつけようと思えます。 俺も。 教えてあげてください。危ないから（角間坂） 私も常に同じことを思っていました。下の句で、批判というほどではないものの、きっぱりと間違いを指摘した表現が歌全体を引き締めている点が好きです。
8	「ねこいるよ」「いるね。かわいい」この人と結婚したらねこは飼わない	わ～、本当に、こういうかわいい歌がもっといっぱいあればいいのに！こんななんぼあってもいいですからね。 「したら」にのろけを感じます。「しても」と突っ放せないんですね。 なぜ猫を飼わないのでしょうか。 可愛らしい。
7	実家発私のコート洗いたてはるばるござる香りをそえて	ご家族と仲が良いのだろうなとほのぼのとした気持ちになりました。 親はありがたいですね。 「香り」ってすごく心と体にのこるものだよ、場所・人によっても違うものだし・・・ 新鮮さを感じます
7	かなしみをあとなんせんちかさねればあなたのようになれるでしょうか	とても好き、美しい。 作者はつよくなりたいたらうな・・・と、ちょっと背中を押してあげたくなる歌です。 「あなた」はかなしみをかさねた人なんですねと思いました。すべてひらがなのが好き。 すべてひらがなでしるされたあなたへのおもいがせつないです。

得票数	作品	コメント
7	古本が思ったよりも安すぎてもう少し出すと謎のプライド	分かる。 わかる。 わかる！これ、いちばん共感。ブックオフで人生最高の一冊が55円で売られていて、切なくて泣きそうになった、でも買った。 古本を買ったこともあります、売りに行ったこともあり、なんとなく、しみじみと、紙の本がいとおしく思えました。
6	レイン・レイン恋人たちがいつもより大きい声で会話している	雨の日は憂うつなイメージですが、「レイン・レイン」と軽快な雰囲気と、雨の中でも仲良く外出する恋人たちの情景が浮かんできました。 雨の日の街を歩く人々の日常の様子が「レイン・レイン」という良い語感と共に切りとられている。 雨音と情景がリアルに思い浮かびます。「レイン・レイン」が効いています。 レイン・レインの語感がかわいい
6	白か黒ははっきりさせたい世の中にグレーのよさも届けたいかな	共感しました 私自身が白黒はっきりさせたい性格なので、どきりとさせられました。「グレーのよさ」という表現から、押し付けではなく新しい視点の提示という印象を受け、素敵だと思いました。 グレーの良さも届いてほしい。
6	ほんわかドリンクセットほしいですえらんでくださいおねがいします	ほんわかドリンクセットほしいですえらんでくださいおねがいします 切実さが実によくつたわってきます。心がこの歌にはありました。 語呂がいいと思った。
6	メレンゲのツノの倒れるような音立てて終わった初めての恋	共感の嵐。 甘くて、優しく、淡い素敵な恋だったのが思い浮かびます。こんな素敵な短歌を書けるならば、すぐ良い人に巡りあえそうです。羨ましい。 繊細で好き。 意外とあっさりしてますね 初恋の淡い感じがよく出ている。
5	一世紀かけし本焼けきな臭さ鼻孔くすぐるカカオの香り	私もあの匂いは大好きです。 古本のあの何ともいえない香りをカカオとしているのになるほどと思いました。あとで嗅いでみます。 図書館で見かける日に焼けた本には、何か甘い薫りがただよう、その発見があるあるでよいです。 共感できる（が、カカオの香りではない）。
5	ポケットに罪の重さを分割し夏は過ぎゆく二度とないのに	「ポケットに罪の重さを分割し」がすてき。「二度とないのに」が「罪」といい感じ。ポケットに入れた切符がやわらかくなるまでひとり春を寝過ごす/岡野大嗣 夏の罪とは何でしょうか。秘密めいた感じがよいです。 言葉の並べ方が秀逸。 せつないかんじでいい
5	一度だけ乾かしてくれた髪の毛に切ってしまったあとに気づいた	エモい。 切ない、でも髪を切るという行為が、すなわち思い出を捨てたことみたいで、じんわりします。 髪の毛とか爪とか、後で思い出します。

得票数	作品	コメント
5	クヌギ、ブナ、コナラ、ミズナラ、マテバシイほっぺばんばんじゅんぴばんたん	リスさんの投稿でしょうか。飢え死にすることなく春を迎えてほしいです。角間にリスはいるのでしょうか。 「ほっぺばんばん」のりすの姿が目につかび、思わず、ほほえんでしまいました。 リスの冬ごもりを詠んだのであろうと推測いたします。リズム感と下の句の平仮名での表記があいまって、かわいらしさが表れている点が好きです。 かわいい
5	蟻が蟻を運んでいた本棚に本を返すくらい自然に	たとえがよい。 メメントモリですかね 私自身、蟻を観察するのが好きで、共感できると思いました。 「図書館短歌」というジャンルを提出したくなります。考えてみれば自然って無慈悲なシュールさがありますね。
5	標識の赤にさくらの影散りてキエフをキーウと呼ぶようになる	時世をうまく取り入れている。赤と桜色の使い方もよい。 人々が笑顔で過ごせる日が来ますように。 時事詠です。「さくらの影」がちょっとわかりづらいですが2022の春らしい
4	フランスに行きたしとまで言はずとも落ち葉踏みしめ思索せむ我	朔太郎がよくいきている。
4	溶け出したアイスクリームの冷たさみたくどっちつかずな想いこぼれる	昔は時間を惜しんで遊んでいたことを思い出した。夕方を片すという表現が好き。
4	朝ぼらけ霧をぬぐいて道を行く鬼は出ないが熊は出るかも	角間への通学路はさもさりげなく。という感じ。前半と後半の落差もよい。 角間ならではの光景、雰囲気を感じられるのと、さいごのリズムがおもしろいと思いました。 熊か鬼か。正直迷うところです。どっちも嫌だな〜。
4	沈黙が流れる壁は大声で孤独について教えてくれた	共感しました
4	とれたての蟬の脱け殻ひそむ蟻夏の終わりにきらめく琥珀	リズム感と言葉の選び方が素敵だと思いました。「きらめく琥珀」という表現から、様々な連想をすることができる点も好きです。
4	通知きて既読つけずにぎゅっと押す待ってないふり恋の駆け引き	具体的な動作から心の機微を描き取る力が素晴らしい。 「ぎゅっと押す」ときに、こっちの心も「ぎゅっ」となってるんだよね…！
4	失恋はしたくないでもこの痛みなければ今の私はなかった	リズム感と内容が非常にすばらしく、ずしりと心に残りました。「今の私はなかった」と言い切っている点から、詠み手がどんな恋をしたのか/失恋を乗り越えるまでの歳月などを、読者が考える余地がある点がすばらしいです。余韻が残る点も好きです。
4	知らぬ道曲がって地図を見るまでは彷徨い進め異界の散歩	見知らぬ道をふらふらなのを「異界の散歩」と表現しているのが素敵だと感じました。 「異界の散歩」という表現が印象的でした。人生は「異界の散歩」の連続かも…。
4	道端の花を見つけてはしゃぐ子と同じ目線にしゃがんでみたり	「同じ目線に」という表現から、詠み手が子どもと同じ光景を共有しようとしている情景が伝わります。ほほえましく、優しさがあふれているように感じました。
4	ゆっくりとじっくりとただしっかりとこれがリ系の僕の生き方	「リ系」の「リ」にいろんな意味が込められているようで考えさせられます。 リ系を「リ」としているところに言葉遊びの粋を感じる。 これが出来る人に憧れます。 「リ系」の生き方に共鳴します。ゆっくり、じっくり、しっかり、大切なことだと思います。
4	寒くなり耐える自分と自制するその分鍋がうまくなるから	さいきんの5限おわりの心情、ほほこんな感じ。まってるおいしいご飯！作るの自分だけ。

得票数	作品	コメント
4	階段を閉架書庫へと下るとき星座未満の夏とすれ違う	不思議な余韻のある歌です。 すてき！かっこいい。閉架書庫/星座未満の四文字づつが特にすてき。さわやか！本当に好き。
4	君と会う朝マスクの下にはピンクのリップ君に見えない私の気持ち	かわいい！はやくマスクなしの生活に戻るといいですね。応援したくなります。かわいい！ マスク時代だから、リップつけなくても分かんないのに、いつもだったらしないのに、好きな人と会う日はフルメイクしちゃう。
3	秋が来ると思わせながら夏戻る次はまた秋かいや冬きて死	分かる。
3	ぶなしめじまつたけえのきテングダケオオワライタケフクロツルタケ	思わず口に出して読みたくなるリズム感と語呂の良さがあって好きです。知名度の高い前半のキノコから段々マニアックさが増していくのが楽しくてとても面白いです。 私もキノコが好きなので、選ばせていただきました。下の句になればなるほどマニアックな種類が詠まれている点が好きです。
3	丘を割き綺麗な道ができていたふるさと嫌う自分が嫌い	
3	乙女子の心と秋の金沢の空ツンデレ気候と人は言うなり	振り回されたいですよ うまい！
3	ああ風呂に入る時間だどうしよう寒さに耐える冬の入浴	わかります。時間になったら自動で入浴が終わってほしい。 わかる
3	「ハロウィン仮装するんだ」孫が言う火葬だなんて死んでも言うな	シンプルにうける。「死んでも言うな」がおもしろいです。
3	アイロン台積もるYシャツ皺だらけ母へのライン感謝を添付	ラインが今時ですが、感謝の気持ちはいつの時代も変わらないですね。
3	「天高し」言い出しっぱはいないのか今日がおそらく最高記録	秋の空の高さは不思議と心を晴れやかにしてくれる。 秋になるとよく聞く表現から上の句が始まっていますが、下の句であっけにとられました。秋晴れの真っ青な空を連想いたしました。思わず空を見上げたくなるような、詠み手の晴れ晴れとした心情が伝わってくる歌でしたので、選ばせていただきました。
3	祈りからそう遠くない白桃を傷んだところから剥いてゆく	キレイな絵だと思います。 微細な痛みをとりぞいでゆく。それは祈りにも似ている。
3	変わりたい口癖の君に教えたい変わらないことの難しさを	「たしかに。」そうつぶやく自分がいた。 わかります。変わってほしくない人ほど言うのはなぜなのでしょうか。
3	お別れを忘れたような夢の中に祖父の遺した歌が聞こえる	
2	秋風に揺れる稲穂と恋心夕日に染まる私の頬かな	稲は春に植えて秋に実る植物であり、恋心も秋になりやと実ったのかと考えさせられた。
2	寒いねと繋ぐ右手の暖かさ私の頬にも紅葉色づく	
2	風に乗るあの子に届け金木犀願ひ込めて今年も咲くらむ	俵万智の秀歌の本歌取りでしょうか。元歌のテイストをふまえて初々しさが伝わります。
2	ふと見れば紫に溶ける雲の群降りたがらぬ夕方を片す	
2	ひさかたの光のどけき晴れの日だかと思いきやすぐに雨空	北陸金沢の天気をよく表していると思います。途中の切りかわりがおもしろいと感じました。 金沢では雨が散ってきますね。なんでとというか早く止んでほしい限りです。
2	アジフライアゼルバイジャンアパホテル頭は「ア」だけど全部違うね	アゼルバイジャン最高です！！?? たしかに！とおもった

得票数	作品	コメント
2	何故学ぶ秋の便りにさふ問はれ好学ならんさふ答へみむ	好学がいい
2	いたずらにページめくるは最新刊折り目無き書に得る背徳感	共感できる。
2	日曜日。アラームつけて、寝たはずが、八時半です。自主休講。	昨日確かにアラームをつけたはずなのにと言う気持ちは非常によくわかります。
2	君に問ふ哲学有りやその論にそに答へんと知を活かしみむ	哲学を求めたい
2	秋風に長そで着ても目の前に古代魚よぎる泡がはじけて	神秘的でいい
2	抱きしめるために二本の腕はあり僕なら君を一人にしない	「二本の腕」「一人にしない」 こういう表現はたぶんいつまでも好き。 「腕はある 僕なら」ではなく、「あり 僕なら」なのがすてき。つづいてる感じで。 装飾をそぎ落とした明快でまっすぐな愛情が見える。
2	魚跳ねて湖面の空の揺らぎけり月はこの世の穴とぞ思ふ	情景が浮かんでくるようです。
2	帰り道秋を探りし浅野川水面に映るせせらぎに月	
2	「す」は「好き」と「あ」は「会いたい」とケータイの予測変換恋する私	今の自分を連想させてくれる。
2	海坂をこえて大雨降る島のような大学キャンパスは夏	句の分割の仕方がとても効果的なのに、リズムも崩れていなくて感動した。
2	ハロウィンの日の心臓マッサージはアンパンマンマーチのリズムで	文化はこうやって形成されるんですね。勉強になりました。 例の事故に関する思いをかるやかに大切に伝えている。
2	秋空にふとよみがえる合唱祭歌声にのせた十五の心	センチメンタルで懐かしい音が聞こえてくるような歌です。 合唱部だったときの思い出す、秋は校内合唱の季節！
2	講義時に思い出される子どもたち学校教育問い直し中	講義を受けながら思い出す。あの日あの時のクラスメイトを「子どもたち」と少しフカンして見ている視点が良い。
2	橋桁に白き朽木の掛かりたり越し方の夏秋は悲しき	古歌のような表現が、哀愁の漂う秋の風景と合致していて素敵だと思いました。大雨の後の浅野川を詠んだのだろうか、と推測しながら読ませていただきました。
2	サークルもバイトもせずに一年が終わっていくよ(終わっていくよ)	余韻が良い。(ん) それもまた楽し
2	キム子鍋しゃぶしゃぶすき焼きタッカンマリぜんぶおいしい	お腹が減ってきました。明日の夜ご飯が鍋になるかもしれません。
2	暑い夏しのいだ次は寒い冬神様少し手加減をして	本当にそれなと思います
2	積み上げた塵も思いも業者に任ず濁され濁され立つ鳥のコーポ	旅立ちのときはだいたいいい加減ですかね リズムもおもしろいと思いますが、生活の証、のようなものを感じました。
2	笑いあり感動ありの日常を体験したいもう手遅れかな	わかる。 そんなことは無い
2	白衣着て二次関数を教えつつ靴下の穴隠す教室	映像が浮かび、身に染みました。
1	夏過ぎて右から左へ秋過ぎた今年の冬は大雪の予感	「右から左へ」という表現が、時の流れの速さを表していて素敵だと思いました。
1	細い月は時空の切れ目吸い込まれたい今日このごろ	漆黒の空の広がりとお三日月が叙情的に詠まれていて、静かできれいな歌だと思います。
1	朝ぼらけ机に向かうただひとり耳をすませばおまへの鳴き声	怒っていますか？
1	桜咲き角間の里に降り立ちぬ花は散りゆき今は昔に	金大生らしい。過去は美しく見えるのでしょうか。

得票数	作品	コメント
1	投稿し安堵する間を惜しみては冬日に向かふ学府への路	びじっときた。
1	助走がさ短いね秋聞き返せ俺あの道も落ち葉は掃かれ	「助走がさ短いね秋」という言葉にどう続けようか、と悩んで言葉が出ない・・・そんな空気と気持ちが伝わる
1	秋風と日々染まりゆく木々の間によみがえる街カメラ片手に	秋らしくていい
1	帰り道動きを止めて手の中に明日をみつめる揺れる炎を	なんかいいとおもった
1	僕の焦り感じる秋の日雨が降る流した涙が列島包む	情緒がある
1	何処へ行く自由を唄う渡り鳥青き秋晴れ角間を昇る	飛ぶ渡り鳥への憧れを感じると共にそれについて行って角間に登る人が目に浮かぶ。
1	食べるより作るのが好きそれはないたった一言洋をかし	掛け言葉があり高度
1	金属のボタンをはずす本当に言いたいことは言えなくていい	意味深です。学生服のボタンととるか、ブラウスととるかで世界が一変。

